

認知症予防の為に

「MCIスクリーニング検査」

のすすめ

このような方にお勧めです

- ✔ 最近、もの忘れが増えてきた…
- ✔ 肥満や糖尿病など生活習慣病の恐れがある…
- ✔ 親や家族の様子が少し変わった気がする…



5人に1人が認知症になる？

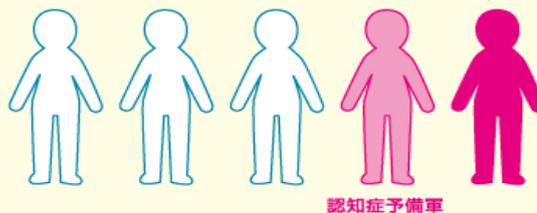
2025年、65歳以上の高齢者のうち認知症の人は約700万人（5人に1人）に増加すると予測されています。*

さらに、**認知症予備軍**と言われる軽度認知障害（MCI）の人は認知症の人と同数程度いるとも言われています。

現在、認知症は症状の進行を一定期間防ぐ薬はあるものの、根本的な治療薬は未だ開発中です。

*出典：厚生労働省 認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)

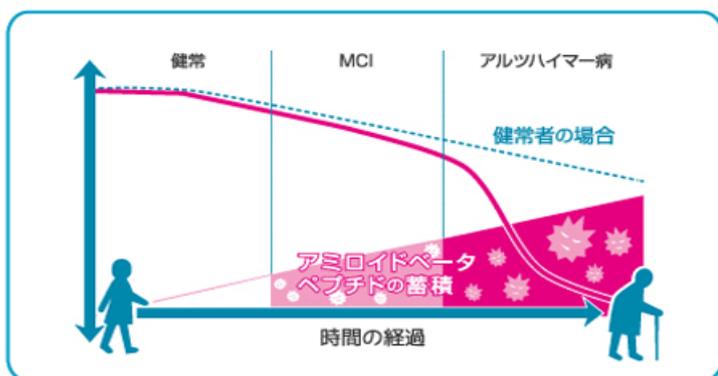
65歳以上の5人に1人は、**認知症**



認知症予備軍

軽度認知障害（MCI）とは？

アルツハイマー病発症までの経緯



軽度認知障害（MCI）とは、健常者と認知症の中間の段階を指します。

日常生活に支障はありませんが、そのまま経過すると**約5年でその半数以上が認知症に進行する**と言われています。

認知症予備軍とも言われているMCIですが、最近の研究ではMCIの段階で適切な予防や治療を行えば、**認知症の発症を防ぐことや遅らせることができる**と分かっています。

認知症の中でも最も多いアルツハイマー型認知症（アルツハイマー病）は、発症する約20年前から主な原因物質であるアミロイドベータペプチドが脳内に溜まり始め、認知機能が少しずつ低下していきます。

大切なのは発症後の治療ではなく、発症前の予防です。

認知症は、なる前に予防しましょう。

予防の為に「MCIスクリーニング検査」をお勧めします。

軽度認知障害（MCI）を早期発見する 「MCIスクリーニング検査」って？

アルツハイマー病はアミロイドベータペプチドという老廃物が脳に蓄積し、神経細胞を破壊することで発症します。

MCIスクリーニング検査は、アルツハイマー病の前段階である**MCIのリスク**をはかる**血液検査**です。この検査では、アミロイドベータペプチドの排除や毒性を弱める機能を持つ血液中の**3つのタンパク質**を調べることで、MCIのリスクを判定します。



検査は採血のみ

検査は約7ccの採血のみです。
念のため前日から体調管理に気を付けましょう。



検査結果について

判定結果はリスクに応じてA～Dの4段階

- A：1～2年に1回は検査を受けましょう
- B：1年毎の定期検診を受けましょう
- C：6ヶ月～1年毎の定期検診を受けましょう
- D：2次検査をおすすめします

健康診断と同じように定期的に検査を受けることで、ご自身の変化を**早い段階で気づく**ことができます。健康な方でも高齢になるにつれて、認知症やMCIのリスクは自然と高まります。検査の結果に関わらず、**生活習慣を改善**し、予防に取り組みましょう。

認知症の予防について

認知症は**生活習慣病**のひとつです。

“自分はまだ大丈夫”“私は認知症にはならない”と思っている方は要注意！元気なときにこそ生活習慣を改善し、認知症やその他の**病気にならない体づくり**を心がけましょう。

- ◎ 50歳代以上の方が検査対象となります。
- ◎ 検査に3週間ほどかかります。
- ◎ 物忘れドックでは、「APOE遺伝子検査」も同時に行います。
※ APOE遺伝子検査は、アルツハイマー型認知症の発症リスクを調べる検査です。

ご予約・検査に関する御問合せ

医療法人徳洲会 山形徳洲会病院 健診センター
TEL 023-647-3418